

現代日本の「政治と宗教」

明治大学大学院 政治経済学研究科 特別講義

日時：10月13日（金）15：30～

会場：グローバルフロント2階 4021教室
（オンラインでの受講も可能です。）

講師：塚田穂高（上越教育大学 准教授）

つかだ・ほたか 1980年、長野市生まれ。

東京大学大学院博士課程（宗教学宗教史学）を修了。博士（文学）。

國學院大學助教等を経て、現在、上越教育大学大学院准教授。

専門は宗教社会学で、近現代日本の宗教思想・運動・文化、政教問題、

宗教団体の政治活動、カルト問題、宗教教育、「宗教2世」問題などを研究。著書に、『宗教と政治の転軸点—保守合同と政教一致の宗教社会学—』（単著）、『徹底検証 日本の右傾化』（編著）、『だから知ってほしい「宗教2世」問題』（共編著）など。

・ 講演内容 ・

現代日本における「政治と宗教」の問題にはどのようなものがあるのか。宗教団体と政治の関わりがきびしく問われるようになってきているが、そもそもなぜ、そしてどのように宗教団体は政治に関わろうとするのか。本講演では、さまざまなタイプの具体例を踏まえながら、この問題について考え、理解を深める。

学内・学外を問わず参加可能です

【事前予約必須】参加をご希望の方はQRコードからご予約ください ▶

【事前予約期限】10月9日(月)まで

Zoomミーティングの情報は、事前予約いただいた方に後日お知らせいたします。

